

釧路湿原における繁殖期の鳥類センサス調査について

貞國 利夫[※]

A breeding bird census in Kushiro Mire

Toshio SADAKUNI[※]

はじめに

釧路湿原における鳥類調査の歴史は、釧路湿原総合調査(1975)から始まったといっても過言ではない。この調査結果はラムサール条約の登録や釧路湿原国立公園設立に向けた重要なデータの一つとなっている。筆者が2019年にまとめた釧路湿原鳥類目録の文献リストを参照すると、1980~90年代の文献が多く、条約登録にあわせた調査や、国立公園設立前後の調査が活発であったことが分かる。2000年代前半までは比較的報告されていたが、その後はあまりまとまった鳥類調査はされていないようにみられた。

湿原とは、沼地や河川沿いなどにおいてヨシやスゲが広がる湿性環境をイメージしやすいが、周囲の丘陵地は湿原へ湧き水を供給する役割があり、また湧水地の周囲は湿性環境が広がっているため、丘陵地は湿原を構成する重要な環境の一つである。よって、釧路湿原の環境変化を把握するためには周囲の丘陵地のセンサスも必要だが、過去の文献を参照すると、単発の観察記録程度で鳥類センサス記録は乏しかった。

そこで本稿では、釧路湿原において過去に踏査記録の無い地点及び過去に記録があったものの、その後長期間記録が無い地点を中心に繁殖期のセンサスを行い、現在の鳥類相を明らかにすることを目的とした(過去の鳥類相との比較は別論文にて議論予定)。

調査地・方法

調査地は計10地点を抽出し、2020年から2023年の6月から7月にかけて実施した。複数回実施した調査地もあったが、基本は1回のみでのセンサスとした。センサスの種類はスポットセンサス(1回あたり30分間)とルートセンサス(時速1~2km)を併用した。スポットの位置やルートセンサス幅について、過去に実施された調査地であれば踏襲し、そうでない調査地はルート上の最初と最後でスポットセンサスを半径50m内と外で、ルートセンサスは片側50mとしてその範囲内と

外を記録した。種の同定は、目視と聞き取り及び撮影で、目視は8~10倍の双眼鏡、撮影は一眼レフカメラ(500mmレンズにて)や高倍率ズーム可能なデジタルカメラにて行った。記録方法は、出現した種とその個体数を用紙へ記入した(成鳥と幼鳥の区別は行わなかった)。また、複数回実施した同じ調査地のセンサス結果において実施月や踏査距離、センサス幅が同じものは合計し、その平均値をセンサスの結果とした。次に、各調査区のセンサス内におけるha当たりの個体数(ha/n)を算出して各種の生息密度、センサス内における相対優先度(d:dominance)を算出し、調査区間の違いを議論した。調査地点やルートについては図1を参照したい。また、調査地の概要は次の通りである。

【タイプ:丘陵地】

《1. キラコタン岬》新規

広域基幹林道宮島線からキラコタン岬へ向かう散策路を踏査。スタートは林道入口から50mほど入ったあずまやからとした。

日時:2020年6月3日午前3時48分~5時46分 天候:曇り 踏査距離:1.6km ルートセンサス幅:50m 環境:広葉樹林、所により湧水地、笹原

《2. 達古武沼沿い》新規

スタートは国道391号線から1.5kmほど林道を進んだ地点からとし、湖畔から夢が丘展望台までの散策路を踏査。

日時:2022年6月17日午前4時4分~6時27分 天候:晴れ 踏査距離:3.0km ルートセンサス幅:50m 環境:主に広葉樹林内を踏査、所により湧水地、ハンノキ林

【タイプ:湿原】

《3. コッタロ湿原》

道道1060号線上において、コッタロ湿原展望台から二本松展望台前の橋までを踏査。

(A)

※ 釧路市立博物館 Kushiro City Museum

日時：2020年6月9日午前3時42分～6時12分 天候：曇りのち晴れ 踏査距離：3.5km ルートセンサス幅：50m

(B)

日時：2021年7月10日午前4時13分～7時51分 天候：曇り

日時：2021年7月11日午前4時9分～7時45分 天候：雨ときどき曇り

踏査距離：3.5km ルートセンサス幅：25m 環境：ヨシスゲ湿原、河畔林、河川

《4. 久著呂川》

スタートは久著呂川とオンネナイ川との合流点から800mほど上流の橋からとし、下流へ向かって久著呂川沿いを踏査。

日時：2020年6月17日午前4時7分～6時43分 天候：小雨 踏査距離：3.0km ルートセンサス幅：50m 環境：ヨシスゲ湿原、ハンノキ林、河畔林、河川

《5. 下仁々志別牧草地跡》新規

スタートは道道666号線と牧草地跡の砂利道との交差

点からとし、牧草地跡内にある砂利道を踏査。

日時：2022年6月18日午前4時9分～6時51分 天候：晴れ 踏査距離：3.5km センサス幅：50m 環境：ヨシスゲ湿原、一部草地、河川

《6. 鶴居軌道跡北斗側》

スタートは釧路湿原道路と鶴居軌道跡との合流点とし、軌道跡の砂利道を踏査。

(A)

日時：2020年6月2日午前3時32分～5時58分 天候：曇り～雨 踏査距離：4.0km ルートセンサス幅：50m

(B)

日時：2022年7月9日午前3時50分～7時5分 天候：曇り

日時：2022年7月24日午前3時45分～7時32分 天候：曇り 踏査距離：2.0km ルートセンサス幅：25m 環境：ヨシスゲ湿原、ハンノキ林

《7. 釧路阿寒自転車道・北斗～鶴野間》新規

スタートは道道835号線（釧路阿寒自転車道）と道道53号の交差点とし、釧路湿原道路との交差点までの区間を踏査。

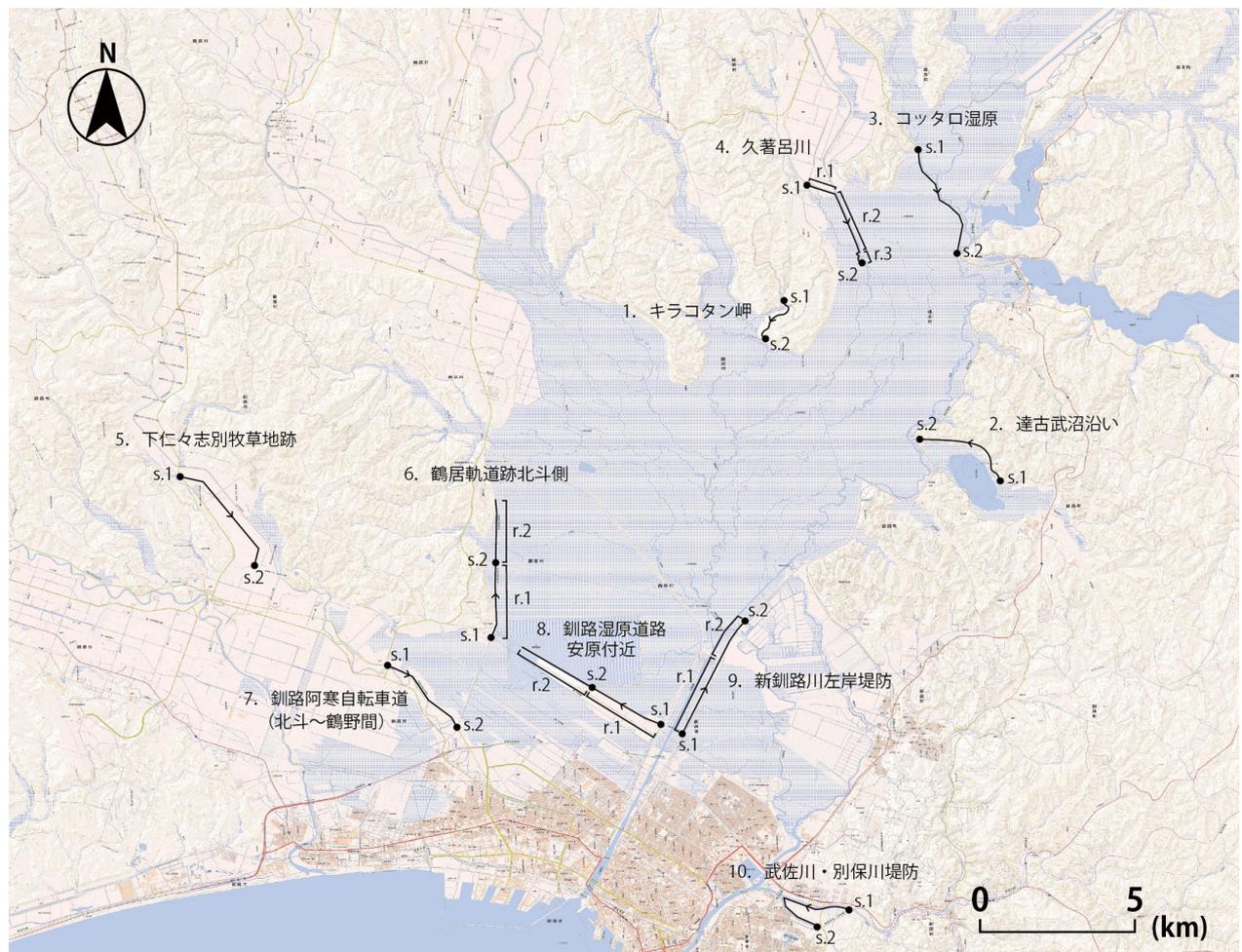


図1. 釧路湿原の鳥類センサス調査地

日時:2023年7月8日午前3時59分~8時24分 天候:晴れ
 日時:2023年7月9日午前4時1分~8時34分 天候:霧のち晴れ 踏査距離:2.6km ルートセンサス幅:50m
 環境:ヨシスゲ湿原、河畔林、河川、一部牧草地

《8. 釧路湿原道路安原付近》

スタートは新釧路川右岸通と釧路湿原道路との交差点とし、歩道を北西へ踏査。

日時:2022年6月12日午前3時51分~6時50分 天候:曇りときどき雨 踏査距離:3.5km ルートセンサス幅:25m
 環境:ルート上の北側はヨシスゲ湿原とハンノキ林、南側は湿原に戻りつつある牧草地

《9. 新釧路川左岸堤防》

スタートは釧路湿原道路と新釧路川左岸堤防との交差点とし、堤防道路を北へ踏査。

日時:2020年6月10日午前3時34分~5時51分 天候:霧ときどき曇り 踏査距離:3.0km ルートセンサス幅:50m
 環境:ヨシスゲ湿原、ハンノキ林

《10. 武佐川・別保川堤防》新規

スタートは別保川沿いの堤防道路と鉄道路の交差点。堤防道路上を反時計回りに歩くルートとし、途中道道113号線を超えつつ、武佐川と鉄道路の交差点をゴールとした。

日時:2022年6月9日午前3時45分~6時58分 天候:曇り 踏査距離:3.3km ルートセンサス幅:50m
 環境:ヨシスゲ湿原、河畔林、河川

調査結果

10地点のセンサスを行い、計65種類を確認することができ、林を中心に生活する鳥は28種(全体の43%)、湿原を中心に生活する鳥は9種類(全体の14%)だった(表1)。また、各センサス結果の詳細は表2の通りである。主な環境区分として【タイプ:丘陵地】で分けた2地点において、最も優先度が高い種類はセンダイムシクイであり、ついでビンズイ、アオジ、ハシボソガラス、シジュウカラが続いた。センダイムシクイのha当たりの個体数はキラコタン岬の0.8が最大であった。優先度は低いが、オオルリやコルリ、メジロなど森林域を好むとされる鳥類も確認できた。また、湿性環境を好むとされるコヨシキリ、ノビタキ、ウグイスらは確認できたが優先度は低かった。次に、【タイプ:湿原】で分けた8地点でみると、上位で確認されたのはコヨシキリ、ノビタキ、ウグイス、センダイムシクイ、アオジがみられ、コヨシキリとノビタキについては30%を超える地点もあった。コヨシキリは釧路湿原道路沿い安原付近にてha当たり1.7個体、ノビタキは鶴居軌道跡北斗側にてha当たり2.9個体が最大値であった。逆に、タイプ:丘陵地でみられたビンズイやシジュウカラなどは確認できなかったか、できてセンサスの範囲外であった。

表 1. 調査によって確認できた鳥類リスト
 (種名の並びは日本鳥類目録改定第8版に準ずる)

No.	和名	学名	タイプ
1	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	
2	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>	
3	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>	
4	ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	林
5	カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	林
6	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	林
7	アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	林
8	クイナ	<i>Rallus indicus</i>	湿原
9	シロハラクイナ	<i>Amauromis phoenicurus</i>	湿原
10	タンチョウ	<i>Grus japonensis</i>	湿原
11	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	湿原
12	オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>	
13	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	
14	チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>	湿原
15	トビ	<i>Milvus migrans</i>	
16	オジロワシ	<i>Haliaeetus albicilla</i>	
17	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	
18	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>	
19	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>	林
20	アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>	林
21	クマガラ	<i>Dryocopus martius</i>	林
22	ヤマゲラ	<i>Picus canus</i>	林
23	チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo</i>	
24	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	
25	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	
26	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	林
27	ヒガラ	<i>Periparus ater</i>	林
28	ハシブトガラ	<i>Poecile palustris</i>	林
29	コガラ	<i>Poecile montanus</i>	林
30	シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>	林
31	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	
32	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	林
33	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>	
34	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>	
35	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	林
36	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	林
37	エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoideus</i>	林
38	コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>	湿原
39	エゾセンニュウ	<i>Locustella amnicola</i>	
40	シマセンニュウ	<i>Locustella ochotensis</i>	湿原
41	マキノセンニュウ	<i>Locustella lanceolata</i>	湿原
42	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	林
43	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>	林
44	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i>	林
45	ムクドリ	<i>Spodiopsar cinereus</i>	
46	コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i>	
47	トラツグミ	<i>Zoothera aurea</i>	林
48	アカハラ	<i>Turdus chrysolous</i>	林
49	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	林
50	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	林
51	ノゴマ	<i>Calliope calliope</i>	
52	コルリ	<i>Larivora cyane</i>	林
53	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	林
54	ノビタキ	<i>Saxicola stejnegeri</i>	
55	ニュウナイスズメ	<i>Passer cinnamomeus</i>	林
56	スズメ	<i>Passer montanus</i>	
57	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	
58	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	
59	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	
60	イカル	<i>Eophona personata</i>	林
61	ベニマシコ	<i>Carpodacus sibiricus</i>	
62	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	
63	アオジ	<i>Emberiza personata</i>	
64	オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>	湿原
65	カワラバト(ドバト)	<i>Columba livia</i>	

表 2-1. キラコタン岬のセンサス結果

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		合 計	センサス内のみ		
		内	外	内	外	内	外		計	ha/n	d
1	マガモ	0	0	0	0	2	0	2	2	0.1	2.7
2	ツツドリ	0	1	0	1	0	2	4	0	0	0
3	カッコウ	0	2	0	4	1	3	10	1	0.1	1.3
4	キジバト	1	2	1	1	1	1	7	3	0.2	4.0
5	アオバト	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0
6	タンチョウ	0	1	0	0	1	0	2	1	0.1	1.3
7	オオジシギ	0	0	0	2	0	1	3	0	0	0
8	オジロワシ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
9	コゲラ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
10	アカゲラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0.1	1.3
11	ハシボソガラス	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
12	ハシブトガラス	0	1	1	1	4	1	8	5	0.3	6.7
13	ヒガラ	0	0	1	1	3	3	8	4	0.3	5.3
14	シジュウカラ	0	0	3	0	2	0	5	5	0.3	6.7
15	ウグイス	0	0	0	1	1	3	5	1	0.1	1.3
16	エナガ	0	0	1	0	0	0	1	1	0.1	1.3
17	センダイムシクイ	1	2	0	1	12	0	16	13	0.8	17.3
18	エゾムシクイ	1	1	0	2	2	4	10	3	0.2	4.0
19	コヨシキリ	0	0	2	1	0	3	6	2	0.1	2.7
21	シマセンニュウ	0	0	0	1	0	2	3	0	0	0
22	ゴジュウカラ	0	0	3	0	0	0	3	3	0.2	4.0
23	トラツグミ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
24	アカハラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0.1	1.3
25	コサメビタキ	0	0	0	0	1	0	1	1	0.1	1.3
26	オオルリ	0	0	0	1	0	2	3	0	0	0
27	ノゴマ	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0
28	キビタキ	0	1	0	0	0	3	4	0	0	0
29	ノビタキ	0	0	0	0	1	0	1	1	0.1	1.3
30	ビンズイ	0	0	2	0	10	0	12	12	0.8	16.0
31	ベニマシコ	0	0	0	0	3	0	3	3	0.2	4.0
32	アオジ	1	2	1	0	10	1	15	12	0.8	16.0
		4	14	15	19	56	34	142	75	-	-

表 2-3a. コッタロ湿原 (A) のセンサス結果

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		合 計	センサス内のみ		
		内	外	内	外	内	外		計	ha/n	d
1	マガモ	0	1	0	0	5	0	6	5	0.1	3.6
2	ツツドリ	0	1	0	1	0	4	6	0	0	0
3	カッコウ	0	3	0	1	7	12	23	7	0.2	5.1
4	キジバト	0	2	0	1	4	2	9	4	0.1	2.9
5	アオバト	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
6	タンチョウ	0	4	0	0	0	2	6	0	0	0
7	アオサギ	0	1	0	0	1	1	3	1	0.1	0.7
8	トビ	1	0	0	0	1	0	2	2	0.1	1.5
9	ハシボソガラス	0	1	0	1	0	1	3	0	0	0
10	ハシブトガラス	0	4	0	1	0	5	10	0	0	0
11	ヒガラ	0	0	0	1	2	0	3	2	0.1	1.5
12	ハシブトガラ	0	0	0	0	3	0	3	3	0.1	2.2
13	シジュウカラ	0	0	0	1	2	1	4	2	0.1	1.5
14	ヒヨドリ	0	0	3	0	0	0	3	3	0.1	2.2
15	ウグイス	0	3	0	1	9	8	21	9	0.3	6.6
16	エナガ	0	0	1	0	2	1	4	3	0.1	2.2
17	センダイムシクイ	2	3	1	2	14	4	26	17	0.5	12
18	エゾムシクイ	0	1	0	1	1	2	5	1	0.1	0.7
19	コヨシキリ	3	0	0	1	37	3	44	40	1.1	29.2
20	エゾセンニュウ	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
21	シマセンニュウ	0	1	0	0	14	10	25	14	0.4	10.2
22	ゴジュウカラ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
23	コサメビタキ	0	0	0	0	3	0	3	3	0.1	2.2
24	ノゴマ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
25	ノビタキ	0	0	0	0	5	0	5	5	0.1	3.6
26	ニューナイスズメ	0	0	2	0	0	0	2	2	0.1	1.5
27	ビンズイ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
28	ベニマシコ	2	0	0	0	3	6	11	5	0.1	3.6
29	カワラヒワ	0	0	0	0	2	0	2	2	0.1	1.5
30	アオジ	0	0	1	0	4	0	5	5	0.1	3.6
31	オオジュリン	0	0	0	0	2	2	4	2	0.1	1.5
		8	25	8	15	121	67	244	137	-	-

表 2-2. 達古武沼沿いのセンサス結果

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		合 計	センサス内のみ		
		内	外	内	外	内	外		計	ha/n	d
1	マガモ	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0
2	ツツドリ	0	1	0	1	0	5	7	0	0	0
3	カッコウ	0	2	0	3	1	2	8	1	0.1	1.4
4	キジバト	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0
5	アオバト	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0
6	タンチョウ	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0
7	オオジシギ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
8	アオサギ	0	1	1	0	1	0	3	2	0.1	2.8
9	トビ	1	0	0	0	0	2	3	1	0.1	1.4
10	オジロワシ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
11	コゲラ	1	0	0	0	0	2	3	1	0.1	1.4
12	アカゲラ	0	0	0	0	2	0	2	2	0.1	2.8
13	クマガラ	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0
14	ハシボソガラス	2	5	1	0	9	0	17	12	0.4	16.7
15	ハシブトガラス	0	2	1	3	3	0	9	4	0.1	5.6
16	ヒガラ	0	0	1	0	0	2	3	1	0.1	1.4
17	ハシブトガラ	0	0	1	0	0	0	1	1	0.1	1.4
18	シジュウカラ	1	1	1	0	7	2	12	9	0.3	13
19	ヒバリ	1	1	0	0	0	0	2	1	0.1	1.4
20	ヒヨドリ	0	0	1	0	1	0	2	2	0.1	2.8
21	ウグイス	0	1	0	2	0	5	8	0	0	0
22	センダイムシクイ	0	3	1	1	16	18	39	17	0.6	23.6
23	エゾムシクイ	0	0	0	1	1	5	7	1	0.1	1.4
24	コヨシキリ	0	1	0	3	1	4	9	1	0.1	1.4
25	エゾセンニュウ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
26	シマセンニュウ	0	2	0	0	0	4	6	0	0	0
27	マキノセンニュウ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
28	メジロ	1	0	0	0	0	0	1	1	0.1	1.4
29	ゴジュウカラ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
30	コサメビタキ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
31	オオルリ	0	0	0	0	1	2	3	1	0.1	1.4
32	コルリ	0	0	0	0	1	3	4	1	0.1	1.4
33	ノビタキ	1	0	0	0	0	0	1	1	0.1	1.4
34	ニューナイスズメ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
35	キセキレイ	1	0	0	0	0	0	1	1	0.1	1.4
36	ハクセキレイ	0	0	0	0	2	0	2	2	0.1	2.8
37	ビンズイ	0	0	1	0	1	1	3	2	0.1	2.8
38	ベニマシコ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
39	アオジ	0	2	0	0	7	4	13	7	0.2	9.7
		9	30	9	16	54	70	188	72	-	-

表 2-3b. コッタロ湿原 (B) のセンサス結果 (2 回分の合計値として)

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		合 計	センサス内のみ		
		内	外	内	外	内	外		計 (計/2回)	ha/n	d
1	マガモ	0	0	0	2	0	0	2	0.0	0	0
2	アマツバメ	0	0	2	0	41	8	51	21.5	1.2	18.9
3	ツツドリ	0	1	0	0	0	3	4	0.0	0	0
4	カッコウ	0	5	0	3	5	17	30	2.5	0.1	2.2
5	キジバト	0	3	0	0	1	3	7	0.5	0	0.4
6	アオバト	0	1	0	0	0	2	3	0.0	0	0
7	タンチョウ	0	0	0	0	0	4	4	0.0	0	0
8	アオサギ	0	2	0	1	1	1	5	0.5	0	0.4
9	チュウヒ	0	0	0	0	0	1	1	0.0	0	0
10	トビ	0	1	1	3	4	2	11	2.5	0.1	2.2
11	オジロワシ	0	0	0	0	0	2	2	0.0	0	0
12	カワセミ	0	0	2	1	0	0	3	1.0	0.1	0.9
13	アカゲラ	1	1	0	2	10	0	14	5.5	0.3	4.8
14	チゴハヤブサ	0	0	0	0	0	4	4	0.0	0	0
15	モズ	0	0	0	3	0	0	3	0.0	0	0
16	ハシボソガラス	0	0	0	2	0	3	5	0.0	0	0
17	ハシブトガラス	0	1	2	6	7	18	4.0	0.2	3.5	
18	ヒガラ	2	0	0	0	6	1	9	4.0	0.2	3.5
19	ハシブトガラ	3	0	0	0	1	0	4	2.0	0.1	1.8
20	コガラ	1	0	0	0	1	0	2	1.0	0.1	0.9
21	シジュウカラ	1	0	0	0	6	0	7	3.5	0.2	3.1
22	ヒヨドリ	0	2	0	0	0	0	2	0.0	0	0
23	ウグイス	2	1	0	4	6	7	20	4.0	0.2	3.5
24	センダイムシクイ	8	2	4	1	32	7	54	22.0	1.3	19.4
25	エゾムシクイ	0	0	0	0	2	0	2	1.0	0.1	0.9
26	コヨシキリ	0	3	0	1	22	17	43	11.0	0.6	9.7
27	シマセンニュウ	0	1	0	3	13	36	53	6.5	0.4	5.7
28	ゴジュウカラ	2	0	0	0	0	0	2	1.0	0.1	0.9
29	ムクドリ	1	0	0	0	0	0	1	0.5	0	0.4
30	アカハラ	0	1	0	0	0	0	1	0.0	0	0
31	キビタキ	0									

釧路湿原における繁殖期の鳥類センサス調査について

表 2-4. 久著呂川のセンサス結果

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		ルート2		ルート3		合計	センサス内のみ		
		内	外	内	外	内	外	内	外	内	外		計	ha/n	d
1	ツツドリ	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	4	0	0	0
2	カッコウ	0	2	0	3	0	3	3	4	0	3	18	3	0.1	2.0
3	キジバト	1	2	0	4	0	0	3	1	0	1	12	4	0.1	2.7
4	アオバト	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	4	1	0	0.7
5	シロハラクイナ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	0.1	1.3
6	タンチョウ	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	5	2	0.1	1.3
7	オオジシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8	アオサギ	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0.7
9	トビ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0.7
10	コゲラ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
11	アカゲラ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0.7
12	ヤマゲラ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
13	ハシボソガラス	3	1	1	0	3	2	3	0	2	0	15	12	0.4	8.0
14	ハシブトガラス	0	1	1	2	0	1	8	1	1	3	18	10	0.3	6.7
15	ヒガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0.7
16	シジュウカラ	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	5	5	0.2	3.3
17	ヒバリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
18	ウグイス	1	3	1	4	2	2	8	3	2	0	26	14	0.5	9.3
19	エナガ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	0.1	1.3
20	センダイムシクイ	1	1	2	2	6	1	10	7	5	1	36	24	0.8	16.0
21	エゾムシクイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
22	コヨシキリ	1	0	0	0	4	0	11	2	4	0	22	20	0.7	13.3
23	シマセンニュウ	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3	1	0	0.7	0
24	ゴジュウカラ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	2	0.1	1.3
25	ムクドリ	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	0.5	9.3
26	ノゴマ	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3	2	0.1	1.3
27	ノビタキ	1	1	0	0	2	1	3	0	0	0	8	6	0.2	4.0
28	ニューナイスズメ	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	4	4	0.1	2.7
29	ベニマシコ	1	2	0	1	0	0	3	1	1	0	9	5	0.2	3.3
30	アオジ	3	1	4	1	1	1	3	0	3	0	17	14	0.5	9.3
31	オオジュリン	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		27	22	12	20	24	14	61	26	27	8	241	151	-	-

表 2-6a. 鶴居軌道跡北斗側 (A) のセンサス結果

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		ルート2		合計	センサス内のみ			
		内	外	内	外	内	外	内	外		計	ha/n	d	
1	ツツドリ	0	0	0	1	0	2	0	2	5	0	0	0	0
2	カッコウ	1	3	1	2	0	5	0	3	15	2	0.1	2.1	
3	キジバト	0	3	0	0	2	1	0	0	6	2	0.1	2.1	
4	アオバト	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
5	タンチョウ	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	1.0
6	アオサギ	0	0	1	0	0	0	1	0	2	2	0.1	2.1	
7	オジロワシ	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
8	アリスイ	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0
9	モズ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1.0	1.0
10	ハシボソガラス	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
11	ハシブトガラス	0	0	0	0	3	3	0	1	7	3	0.1	3.1	
12	ハシブトガラ	0	0	0	0	0	1	3	0	4	3	0.1	3.1	
13	シジュウカラ	0	0	0	0	2	1	0	3	1	0	1.0	1.0	
14	ウグイス	0	0	0	3	9	3	5	0	20	14	0.4	14.6	
15	センダイムシクイ	1	1	1	2	5	16	7	6	39	14	0.4	14.6	
16	エゾムシクイ	0	0	0	0	0	3	1	2	6	1	0	1.0	1.0
17	コヨシキリ	0	2	1	1	5	2	0	0	11	6	0.2	6.3	
18	エゾセンニュウ	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	0.1	2.1	
19	シマセンニュウ	0	2	1	1	2	0	0	1	7	3	0.1	3.1	
20	マキノセンニュウ	1	0	1	1	2	0	3	0	8	7	0.2	7.3	
21	アカハラ	0	1	0	1	0	0	0	3	5	0	0	0	0
22	コサメビタキ	0	0	0	0	0	0	4	0	4	4	0.1	4.2	
23	オオルリ	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0
24	ノゴマ	0	0	0	0	5	0	1	0	6	6	0.2	6.3	
25	キビタキ	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0
26	ノビタキ	0	0	1	2	4	0	2	1	10	7	0.2	7.3	
27	イカル	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
28	ベニマシコ	0	0	0	0	2	2	1	2	7	3	0.1	3.1	
29	カワラヒワ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1.0	1.0
30	アオジ	1	0	1	2	7	15	4	1	31	13	0.3	13.5	
31	オオジュリン	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
		4	16	9	17	49	62	34	26	217	96	-	-	-

表 2-5. 下仁々志別牧草地跡のセンサス結果

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		合計	センサス内のみ					
		内	外	内	外	内	外		計	ha/n	d			
1	ツツドリ	0	2	0	2	0	6	10	0	0	0	0	0	
2	カッコウ	0	2	1	2	2	5	12	3	0	1.7	1.7		
3	キジバト	2	2	1	0	0	4	9	3	0.1	1.7	1.7		
4	アオバト	0	3	0	1	1	4	9	1	0	0.6	0.6		
5	タンチョウ	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	
6	オオジシギ	1	1	1	0	16	3	22	18	0.5	10.2	10.2		
7	アオサギ	1	0	0	1	0	2	4	1	0	0.6	0.6		
8	モズ	1	1	0	0	4	0	6	5	0.1	2.8	2.8		
9	ハシボソガラス	0	0	0	1	5	3	9	5	0.1	2.8	2.8		
10	ハシブトガラス	0	0	1	1	2	0	4	3	0.1	1.7	1.7		
11	ヒヨドリ	2	0	0	0	1	1	4	3	0.1	1.7	1.7		
12	ウグイス	0	1	1	1	12	4	19	13	0.4	7.4	7.4		
13	センダイムシクイ	0	0	0	1	1	1	3	1	0	0.6	0.6		
14	エゾムシクイ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
15	コヨシキリ	0	0	2	1	7	8	18	9	0.3	5.1	5.1		
16	エゾセンニュウ	1	2	0	0	6	0	9	7	0.2	4.0	4.0		
17	シマセンニュウ	0	2	1	1	6	18	28	7	0.2	4.0	4.0		
18	ムクドリ	0	0	2	6	0	0	8	2	0.1	1.1	1.1		
19	コムクドリ	0	0	0	0	6	1	7	6	0.2	3.4	3.4		
20	ノゴマ	0	0	0	0	6	2	8	6	0.2	3.4	3.4		
21	ノビタキ	0	0	0	0	31	3	34	31	0.9	17.6	17.6		
22	ニューナイスズメ	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0.6	0.6		
23	ビンズイ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
24	イカル	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
25	ベニマシコ	0	0	1	1	4	0	6	5	0.1	2.8	2.8		
26	カワラヒワ	0	0	0	0	5	0	5	5	0.1	2.8	2.8		
27	アオジ	1	1	1	0	29	1	33	31	0.9	17.6	17.6		
28	オオジュリン	0	0	2	0	8	2	12	10	0.3	5.7	5.7		
		9	21	14	19	153	70	286	176	-	-	-	-	-

表 2-6b. 鶴居軌道跡北斗側 (B) のセンサス結果

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		合計	センサス内のみ			
		内	外	内	外	内	外		(計/2回)	ha/n	d	
1	ツツドリ	0	2	0	0	0	5	7	0.0	0	0	0
2	カッコウ	0	4	2	3	3	7	19	2.5	0.3	3.0	3.0
3	キジバト	2	2	0	1	3	5	13	2.5	0.3	3.0	3.0
4	アオバト	0	1	0	0	0	1	2	0.0	0	0	0
5	タンチョウ	0	4	0	0	0	0	4	0.0	0	0	0
6	アオサギ	1	1	0	0	0	0	2	0.5	0.1	0.6	0.6
7	トビ	0	0	0	0	1	0	1	0.5	0.1	0.6	0.6
8	カワセミ	1	0	0	0	0	0	1	0.5	0.1	0.6	0.6
9	アリスイ	0	0	0	1	1	0	2	0.5	0.1	0.6	0.6
10	コゲラ	0	0	0	1	2	0	3	1.0	0.1	1.2	1.2
11	アカゲラ	0	0	0	0	3	0	3	1.5	0.2	1.8	1.8
12	モズ	1	0	0	0	0	0	1	0.5	0.1	0.6	0.6
13	ハシブトガラス	1	3	0	0	3	6	13	2.0	0.2	2.4	2.4
14	ヒガラ	0	0	0	0	0	2	2	0.0	0	0	0
15	ハシブトガラ	0	0	0	1	1	0	2	0.5	0.1	0.6	0.6
16	シジュウカラ	1	0	0	0	3	0	4	2.0	0.2	2.4	2.4
17	ヒヨドリ	0	0	0	0	2	0	2	1.0	0.1	1.2	1.2
18	ウグイス	2	3	0	4	9	9	27	5.5	0.6	6.5	6.5
19	センダイムシクイ	2	1	0	0	9	9	21	5.5	0.6	6.5	6.5
20	エゾムシクイ	0	0	0	0	0	2	2	0.0	0	0	0
21	コヨシキリ	1										

表 2-7. 釧路阿寒自転車道(北斗〜鶴野間)のセンサス結果
(2回分の合計値として)

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		合		センサス内のみ		
		内	外	内	外	内	外	計	計	ha/n	d	
1	マガモ	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0.6	
2	カッコウ	1	5	1	1	3	19	30	2.5	0.1	1.4	
3	キジバト	2	2	2	1	4	7	18	4	0.2	2.2	
4	アオバト	4	0	2	2	1	2	11	3.5	0.1	1.9	
5	クイナ	0	1	0	0	0	2	3	0	0	0	
6	タンチョウ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
7	オオジシギ	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	
8	アオサギ	0	0	21	0	0	1	22	10.5	0.4	5.8	
9	チュウヒ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
10	トビ	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	
11	オジロワシ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
12	コゲラ	0	0	0	0	1	0	1	0.5	0	0.3	
13	アカゲラ	1	0	0	0	0	0	1	0.5	0	0.3	
14	ハシボソガラス	3	1	2	1	4	0	11	4.5	0.2	2.5	
15	ハシブトガラス	2	2	2	6	1	5	18	2.5	0.1	1.4	
16	ヒガラ	4	0	0	0	0	0	4	2	0.1	1.1	
17	ハシブトガラ	0	0	0	0	1	0	1	0.5	0	0.3	
18	シジュウカラ	6	0	0	0	5	0	11	5.5	0.2	3.1	
19	ヒヨドリ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	
20	ショウドウツバメ	1	0	0	0	0	0	1	0.5	0	0.3	
21	ウグイス	0	1	0	0	0	4	5	0	0	0	
22	エナガ	10	0	0	0	0	0	10	5	0.2	2.8	
23	センダイムシクイ	2	3	3	0	18	9	35	11.5	0.4	6.4	
24	エゾムシクイ	0	1	0	0	1	4	6	0.5	0	0.3	
25	コヨシキリ	0	2	2	1	51	10	66	26.5	1	14.8	
26	エゾセンニュウ	0	1	0	0	1	3	5	0.5	0	0.3	
27	シマセンニュウ	0	3	3	2	33	9	50	18	0.7	10.0	
28	マキノセンニュウ	0	0	0	0	2	0	2	1	0	0.6	
29	メジロ	1	0	0	0	0	0	1	0.5	0	0.3	
30	ゴジュウカラ	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
31	コムクドリ	0	0	0	0	14	0	14	7	0.3	3.9	
32	コサメビタキ	0	0	0	0	1	0	1	0.5	0	0.3	
33	ノゴマ	0	0	0	0	5	0	5	2.5	0.1	1.4	
34	ノビタキ	2	0	2	1	73	2	80	38.5	1.5	21.4	
35	ベニマシコ	3	1	2	1	5	2	14	5	0.2	2.8	
36	カワラヒワ	1	1	4	2	6	1	15	5.5	0.2	3.1	
37	アオジ	3	1	0	1	10	1	16	6.5	0.3	3.6	
38	オオジュリン	0	0	0	2	25	2	29	12.5	0.5	7.0	
		48	27	46	23	265	88	497	179.5	-	-	

表 2-8. 釧路湿原道路安原付近のセンサス結果

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		ルート2		合	センサス内のみ		
		内	外	内	外	内	外	内	外		計	計	ha/n
1	マガモ	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
2	カッコウ	0	2	0	0	0	9	0	4	15	0	0	0
3	キジバト	0	1	0	0	1	1	0	0	3	1	0	0.4
4	オオジシギ	1	0	0	0	1	3	0	1	6	2	0.1	0.9
5	アリスイ	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6	アカゲラ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0.4
7	モズ	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2	0.1	0.9
8	ハシボソガラス	0	2	0	0	3	0	0	0	5	3	0.1	1.3
9	ハシブトガラス	0	1	1	3	0	0	46	0	51	47	1.3	20.3
10	ヒガラ	0	0	0	0	3	0	0	0	3	3	0.1	1.3
11	ハシブトガラ	0	0	0	0	3	0	0	0	3	3	0.1	1.3
12	シジュウカラ	0	1	0	0	2	0	0	0	3	2	0.1	0.9
13	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
14	ウグイス	0	0	0	0	5	3	2	1	11	7	0.2	3.0
15	センダイムシクイ	0	0	0	1	12	6	5	1	25	17	0.5	7.3
16	コヨシキリ	0	3	0	2	43	13	18	2	81	61	1.7	26.3
17	エゾセンニュウ	0	0	0	0	2	2	0	0	4	2	0.1	0.9
18	シマセンニュウ	0	2	0	1	6	3	3	1	16	9	0.3	3.9
19	マキノセンニュウ	0	1	0	1	7	3	6	2	20	13	0.4	5.6
20	ゴジュウカラ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0.4
21	コムクドリ	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0.4
22	ノゴマ	1	0	1	0	6	2	2	1	13	10	0.3	4.3
23	ノビタキ	2	0	0	1	12	4	4	1	24	18	0.5	7.8
24	ベニマシコ	0	0	0	1	2	0	1	0	4	3	0.1	1.3
25	カワラヒワ	1	0	3	0	0	1	0	0	5	4	0.1	1.7
26	アオジ	0	1	0	0	14	0	4	0	19	18	0.5	7.8
27	オオジュリン	0	0	0	0	4	1	0	0	5	4	0.1	1.7
		5	17	5	10	130	52	92	14	325	232	-	-

表 2-9. 新釧路川左岸堤防のセンサス結果

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		ルート2		合	センサス内のみ		
		内	外	内	外	内	外	内	外		計	計	ha/n
1	マガモ	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1.3
2	ツツドリ	0	1	0	1	0	1	0	0	3	0	0	0
3	カッコウ	0	3	0	4	3	12	0	10	32	3	0.1	3.9
4	キジバト	0	2	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0
5	オオジシギ	0	1	2	0	0	1	0	2	6	2	0.1	2.6
6	アオサギ	0	1	0	1	1	0	0	0	3	1	0	1.3
7	アリスイ	0	0	1	1	0	0	0	1	3	1	0	1.3
8	モズ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1.3
9	ハシボソガラス	0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0	1.3
10	ハシブトガラス	0	3	0	2	0	1	0	2	8	0	0	7
11	ウグイス	0	1	1	1	2	8	3	1	17	6	0.2	7.8
12	センダイムシクイ	0	0	0	1	1	2	2	0	6	3	0.1	3.9
13	コヨシキリ	0	2	1	1	11	21	11	6	53	23	0.8	29.9
14	エゾセンニュウ	0	1	0	0	0	1	1	1	4	1	0	1.3
15	シマセンニュウ	0	2	0	2	2	11	8	6	31	10	0.3	13
16	マキノセンニュウ	0	2	0	0	2	2	0	0	6	2	0.1	2.6
17	コムクドリ	0	0	3	0	0	0	0	0	3	3	0.1	3.9
18	ノゴマ	0	1	0	0	0	1	0	1	3	0	0	0
19	ノビタキ	0	1	0	0	2	2	3	1	9	5	0.2	6.5
20	ズメ	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1.3
21	ハクセキレイ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1.3
22	ベニマシコ	0	0	2	1	1	6	1	2	13	4	0.1	5.2
23	カワラヒワ	1	0	0	0	2	0	0	0	3	3	0.1	3.9
24	アオジ	0	1	2	0	2	0	1	2	8	5	0.2	6.5
25	オオジュリン	0	1	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0
		1	23	14	16	31	72	31	35	223	77	-	-

表 2-10. 武佐川・別保川堤防のセンサス結果

No.	和名	スポ1		スポ2		ルート1		合	センサス内のみ		
		内	外	内	外	内	外		計	計	ha/n
1	マガモ	0	0	2	0	2	0	4	4	0.1	4.0
2	ツツドリ	0	2	0	0	0	1	3	0	0	0
3	カッコウ	0	1	0	0	1	2	4	1	0	1.0
4	キジバト	0	3	0	0	2	0	5	2	0.1	2.0
5	アオバト	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
6	オオジシギ	0	0	0	1	4	0	5	4	0.1	4.0
7	オオセグロカモメ	0	0	0	0	2	1	3	2	0.1	2.0
8	トビ	0	0	1	2	0	0	3	1	0	1.0
9	オジロワシ	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1.0
10	アリスイ	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0
11	アカゲラ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
12	ハシボソガラス	0	3	1	2	2	1	9	3	0.1	3.0
13	ハシブトガラス	0	2	1	3	1	7	14	2	0.1	2.0
14	ヒガラ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
15	ハシブトガラ	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0
16	シジュウカラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1.0
17	ヒバリ	0	0	0	0	2	2	4	0	0	0
18	ウグイス	0	1	0	1	2	1	5	2	0.1	2.0
19	センダイムシクイ	0	4	1	1	0	1	7	1	0	1.0
20	エゾムシクイ	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0
21	コヨシキリ	0	0	0	0	6	2	8	6	0.2	6.1
22	シマセンニュウ	0	0	0	0	1	1	2	1	0	1.0
23	マキノセンニュウ	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
24	コムクドリ	0	1	0	0	6	4	11	6	0.2	6.1
25	ノゴマ	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1.0
26	キビタキ	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0
27	ノビタキ	1	0	0	0	20	1	22	21	0.6	21.2
28	ベニマシコ	0	1	1	0	6	2	10	7	0.2	7.1
29	カワラヒワ	0	0	9	1	10	1	21	19	0.6	19.2
30	アオジ	0	2	0	1	8	1	12	8	0.2	8.1
31	オオジュリン	0	0	0	1	6	2	9	6	0.2	6.1
32	カワラバト(ドバト)	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0

考察

今回の調査で新しく記録された種類は無かったが、丘陵地も含めた釧路湿原における繁殖鳥類のリスト化を行うことができたとみられる。表1の鳥類リストの中で、湿原を好む鳥よりも林を好む鳥の種類の方が多かったが、これは踏査ルート上に河畔林が含まれる調査地が多かったため、それらを利用する鳥がよく記録された可能性が考えられる。以下、【タイプ：丘陵地】と【タイプ：湿原】で注目された点について述べる。

【タイプ：丘陵地】

キラコタン岬はハシブトガラス、カラ類の優先度が高く、合わせて20%近くとなり、達古武沼沿いにおいては40%を超えていた。また、両地点ともセンダイムシクイの優先度が15%を超え、鳥類センサスの結果は森林の環境を反映しているとみられた。また、湿性環境を好むコヨシキリやシマセンニュウなどがいないだけでなく、センサスの範囲外であればカウントされていた。今回は比較的歩きやすい散策路を利用したが、踏査ルートによってはそれらの鳥が反映されたかもしれない。環境は疎林であるため、今後遷移していけばアカハラのようなさらに森林を好む鳥類が増えると考えられる。

【タイプ：湿原】

全体的にコヨシキリの優先度が一番高い地点が多く、特に「釧路湿原道路沿い安原付近」と「新釧路川左岸堤防」は30%前後もあった。釧路湿原の中でも下流域であり、河跡湖や河川に近く広大なヨシ原が広がっていたため、コヨシキリの繁殖に適した環境だと思われる。

「武佐川・別保川堤防」については既存文献がない地点で注目していた。優先度順はノビタキ、カワラヒワ、アオジであり、コヨシキリは6%程度だった。ノビタキやカワラヒワは湿原よりも乾いた草地や農耕地でよく観察される（藤巻1996,2023）。調査地は河川に挟まれているとはいえ堤防と道路に囲まれていることから、比較的乾燥気味の湿原であり、ホザキシモツケやヨブスマソウ、所によってはオオイタドリなどがあったこともこの結果を反映しているとみられる。ただ、センサス外ではあるが、湿原を好むマキノセンニュウが記録された地点もあり、ところによっては良い湿地が残されているとみられる。

「下仁々志別牧草地跡」の特徴としては、オオジシギの優先度が約10%と全調査地の中で最も高いことである。ここは湿原を牧草地化した後放棄され、湿地へ戻りつつある場所で、ホザキシモツケなどの低木もみられるが、全体的には湿った草地が広がっていることが、オオジシギにとって良い環境なのだと考えられる。

近年マキノセンニュウの減少が危惧されている（藤巻2011）が、「釧路湿原道路沿い安原付近」は優先度

が5%を超え、ha当たり0.4個体と筆者の知る限り釧路湿原において最も密度が高い場所である。特にセンサスルートの北側が顕著に記録された。植生が中層湿原であるため、スゲ類が多くヨシはまばらなため、マキノセンニュウが好む環境が広がっているためと考えられる。

最後に、「タイプ：湿原」を踏査していても、センダイムシクイやウグイスなど、林や藪を好む鳥の優先度が一番高い地点が複数あった。本来であれば、コヨシキリやシマセンニュウなどの湿性鳥類が優先するはずである。今回は過去との比較は実施しないが、湿原の水位低下や土砂流入などにより、湿地の乾燥化を反映している可能性があり、今後も継続的に同地点を調査していくことで、鳥類から環境の変化を探ることができると考えられる。

謝辞

本調査は以下の方の協力のもと実施することができました。心より御礼申し上げます。

貞國真穂、高島優、鳥しらべ隊の皆様、永澤広治、深津恵太、森川敦史、吉野智生（50音順、敬称略）

参考文献

- 釧路市立郷土博物館, 1975. 釧路湿原総合調査報告書. 釧路市立郷土博物館, 釧路.
- 藤巻裕蔵, 1996. 北海道中部・南東部におけるカワラヒワとマヒワの生息状況. 帯大研報.20,41-47.
- 藤巻裕蔵, 2011. 北海道におけるマキノセンニュウの分布と出現率の変化. 日本鳥学会誌.60(2),233-237.
- 藤巻裕蔵, 2023. 北海道におけるノビタキの繁殖期の分布. Strix.39,49-58.